

パブリックコメント手続の実施結果について

1 案件名

平塚駅周辺地区将来構想（素案）

2 案件の概要

平塚駅周辺地区将来構想は、社会情勢などの変化を捉え、平塚駅周辺地区の概ね20年後の将来像（将来のあるべき姿）を示し、まちづくりの基本的な考え方や方向性、実現手法などをまとめたもので、市と市民や事業者が共有し、持続可能なまちづくりを実現するために策定します。

3 募集概要

(1) 意見の募集期間

令和6年11月15日（金）～令和6年12月16日（月）

(2) 意見の提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール、e-kanagawa 電子申請システム

4 実施結果

(1) 提出意見数

個人から	15 人	50 件
団体から	0 団体	0 件
合計		50 件

(2) 意見内訳

項目	件数 (件)
序章 策定について	2
第1章 これからのまちづくり	6
第2章 まちづくりのコンセプト	4
第3章 グランドデザイン	5
第4章 まちづくりの方針	11
第5章 通り・エリアの将来イメージ	4
第6章 実現に向けて	3
その他	15
合計	50

※ご意見が複数の章にまたがる場合は、最も若い番号の章に関するご意見として数えています。

例) 第1章へのご意見：第1章としてカウント、第1章と第2章へのご意見：第1章としてカウント

(3) 意見への対応区分

項目	説明	件数 (件)
ア：反映	意見を受けて計画案等を修正したもの又は意見の趣旨が計画案等に沿ったもの	34
イ：参考	事業・取組を推進する上で参考とするもの	6
ウ：その他	意見募集の範囲と異なるもの、反映が困難なもの、質問など	10
合計		50

5 意見対応表

番号	項目	市民意見の概要	市の考え方	対応区分
1	序章 策定について 第2章 まちづくりのコンセプト 第4章 まちづくりの方針	<p>将来イメージが理想像であることは理解しました。</p> <p>ただ、過去にも中心市街地活性化等の取り組みが行われましたが、十分な効果は発揮できませんでした。</p> <p>今回の将来構想は多機能を対象にするということで、より難しくなるところもあると想像します。</p> <p>中心市街地活性化等の過去の取り組みからどのような点が変化し、実現に向けて取り組まれるのでしょうか？</p>	<p>中心市街地活性化に関する取り組みは、古くは昭和59年から着手した紅谷パールロードのショッピングモール整備などをはじめ、近年では、見附台周辺地区の整備や駅前商店会の若手店主などで構成される平塚まち活隊によるコミュニティスペース「きちきち」の運営が進んでいます。</p> <p>一方、平塚駅周辺地区は、近年商圏が近隣の地域に限られるなど商業拠点としての役割が小さくなっています。また、生活様式の変化などのライフスタイルの変化がみられるため、本構想では、まちづくりのコンセプトとして「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」を掲げており、住む人、働く人、遊びに来る人、事業を始める人など、様々な方が関わり、お気に入りの空間や体験を見つけることができるような多機能なまちを目指していくこととしています。</p> <p>「みんなのリビング」の実現にあたっては、市民、事業者、行政が連携して、多様な活動、交流が展開されるような飲食店やコワーキングスペースなどの機能誘導や道路、広場などの活用を進めるための仕組みを地域資源や多様な人材、新技術などを活用して創出していきたいと考えています。</p>	イ 参考
2	序章 策定について 第2章 まちづくりのコンセプト 第6章 実現に向けて	<p>まちづくりのコンセプトに関して、「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに！」の「みんな」とは誰のことでしょうか？「充実した日々の中にときめきを感じられる」の、ときめきを感じるのは誰でしょうか？「それぞれが居心地の良いまちづくり」の「それぞれ」とは、誰のことでしょうか？</p> <p>「平塚駅周辺地区将来構想」となって</p>	<p>本構想では、まちづくりのコンセプトとして「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」を掲げ、住む人、働く人、遊びに来る人、起業する人など、様々な方が関わり、お気に入りの空間や体験を見つけることができるにぎわいやときめきを生むまちを目指していきます。</p> <p>平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるためには、本構想の策定段階から市民や事業者など実現に関わる人と「想い」</p>	ア 反映

	<p>その他（情報発信）</p>	<p>いますが、実際に手を付けるのは駅周辺地区になるにしても、「平塚ならではの魅力的な街にするためには今現在何が欠けていて、何をしなければいけないのかを議論した後、それを実現するためには駅周辺地区はどうあるべきか」という順番に、平塚市全体を一体感をもって考える必要があるのではないのでしょうか？平塚市全体が栄えずして、平塚駅周辺地区だけが栄えるということは、あり得ないと思います。</p> <p>「平塚駅周辺地区の将来構想」にいわゆる部分最適的なハード中心の予算が付くことが見え隠れするイメージを感じました。</p> <p>住んでいる人が「愛着の持てる」街であると同時に、SNS広報など通じて、市外・県外・海外の人が「行ってみたい・見てみたい・味わってみたい」と思って来てくれるような魅力的な平塚の街になって、初めて平塚駅周辺地区も賑わうと思われまます。手順としては、シミュレーションとして、市外・県外・海外の人が見て、行ってみたいくなるSNS広報を作成してみることで。</p>	<p>を共有することが大切と考え、地区の現状や課題の分析をもとにワークショップやオープンハウスなど対面による意見交換を多く行ってきました。本構想の策定後も、関係する主体や団体、市民と目的や進捗を継続的に共有し、情報交換できる機会や活用できる支援制度を周知する機会をつくっていきたいと考えています。</p> <p>また、本市では、愛着の醸成や対外的なイメージを向上するため、市の魅力を発信する「シティプロモーション」に取り組んでいます。平塚駅周辺地区でも歴史や自然、産業などの本市の魅力を市内外に発信できるようなまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	
3	<p>第1章 これからのまちづくり</p>	<p>「湘南都市圏域」の「湘南」が具体的にどこか（どの市町村などの自治体や区域を指すか）、また「都市圏域」が具体的に何を示すか、それぞれ明確に定義していただけないでしょうか。釈迦に説法で恐縮ですが、諸施策の用語を明確に一義的に定義することは、その推進の上で極めて重要です。</p>	<p>本構想における「湘南都市圏域」は、「平塚都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（神奈川県により平成28年11月策定）」に位置づけられる5市3町（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町及び二宮町）としています。</p> <p>「平塚都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」では、平塚駅周辺は地域特性を活かして圏域全体の自立をけん引する拠点づくりを進めることとされています。</p> <p>なお、いただいた御意見を踏まえ、「湘南都市圏域」については巻末の「用語解説」に追加しました。</p>	<p>ア 反映</p>

4	第1章 これからのまちづくり	「湘南」については、多種多様な「定義」がありますので、素案の「湘南都市圏域の広域拠点」では、具体的にどの地域の何のことかわからず様々な誤解や疑念を招き、また「将来構想」の方向性にブレを生じさせる恐れもあると思いますが、いかがでしょうか。	<p>本構想における「湘南都市圏域」は、「平塚都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（神奈川県により平成28年11月策定）」に位置づけられる5市3町（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町及び二宮町）としています。</p> <p>「平塚都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」では、平塚駅周辺は地域特性を活かして圏域全体の自立をけん引する拠点づくりを進めることとされています。</p> <p>なお、いただいた御意見を踏まえ、「湘南都市圏域」については巻末の「用語解説」に追加しました。</p>	ア 反映
5	第1章 これからのまちづくり	「湘南」を明確に定義できないのであれば、定義があいまいでぼんやりとした「湘南都市圏域」という言葉を、今般の「将来構想」では使用すべきではないと思いますが、いかがでしょうか。 当然ながら、「湘南」を明確に定義するには、この地域のすべての市町やその地域住民との合意形成が、事前に必要と考えられます。		ア 反映
6	第1章 これからのまちづくり	この「将来構想」においては、例えば「湘南都市圏域」を、「神奈川県南西部（横浜市・川崎市・相模原市を除く）都市圏域」などと言い換えるべきだと思いますが、いかがでしょうか。		ア 反映
7	第1章 これからのまちづくり	「湘南都市圏域」を明確に定義できないければ、その「広域拠点」には何ら意味がないことになるとと思いますが、いかがでしょうか。「湘南都市圏域」という言葉からは、平塚市が、「湘南」を単なるイメージアップのために使っているような印象を受けます。		ア 反映
8	第1章 これからのまちづくり	「湘南都市圏域の広域拠点」という文言は、やはり平塚市こそが「湘南」の中心であると主張したいがために使われているのだと思います。その点について、様々な定義での「湘南」に属する各自治体の合意がすでに得られ、かつ各自治体（その住民を含む）から平塚市に対して、平塚市が「湘南」地域の牽引役になって欲しいという趣旨の要望が寄せられているのでしょうか。		ア 反映

9	第2章 まちづくりのコンセプト	<p>「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに！」のコンセプトですが、リビングに対して持つイメージが人によって違いがありそうです。</p> <p>ここでのリビングがどういった空間を指しているのか、具体的に示した方がよいと考えました。（「働く」「買い物」「飲食」など、リビングから直接連想しにくいものもあるので）</p>	<p>これからの平塚駅周辺地区は、これまでの商業の集積や交通の利便性に加え、多機能化することを目指しており、これを家の中で家族が集まり、くつろぎ、様々な目的に合わせて過ごす「リビング」に見立て、コンセプトとしました。</p> <p>本構想では、手に取った方が将来の平塚駅周辺地区での過ごし方を想像し、コンセプトのイメージにつながるように「はじめに」を作成しています。</p> <p>御意見を踏まえ「第2章 まちづくりのコンセプト」の「2. まちづくりのコンセプト」に掲載している平塚駅周辺地区での過ごし方を表す「食べる」、「働く」などの写真に説明を加えました。</p>	ア 反映
10	第2章 まちづくりのコンセプト	<p>子どもたちを元気にする街づくりについて。</p> <p>日本の子どもたちは元気がない。不登校の子どもが35万人もいる。なんとかせねばの状態。子どもたちはいつまでも子供ではなく、すぐに大人になる。時間的猶予はあまり残されていない。日本の将来を担う子どもたちを元気にすることが、住み良い街づくりにつながると考える。街づくり、環境、福祉、経済、教育、スポーツ等、全てがこのキーワードでくれる。</p>	<p>本構想では、まちづくりのコンセプトとして「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」を掲げ、住む人、働く人、遊びに来る人、起業する人など、子どもから高齢者まで様々な方が関わり、お気に入りの空間や体験を見つけることができるにぎわいやときめきを生むまちを目指していきます。</p>	ア 反映
11	第2章 まちづくりのコンセプト 第4章 まちづくりの方針	<p>地産地消、地元ならではの食材・素材・文化にまつわるお店を多く誘致してほしい。居酒屋眞鶴にて七夕限定で土屋農場のいちごを使ったかき氷の提供がありました。そういったものが常時いただけるカフェやGelateria Vegaのようなアイスクリーム屋さん、平塚漁港の食堂の二号店みたいなものが駅前であつたらいいなと思う。</p>	<p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町など本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりを進めていきたいと考え、まちづくりの方針を設定しました。</p> <p>地元の食材や素材も本市の魅力のひとつとして捉え、活かしたまちづくりを検討し様々な方が過ごしたくなる平塚駅周辺地区を目指します。</p>	ア 反映

12	<p>第2章 まちづくりのコンセプト</p> <p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>第6章 実現に向けて</p>	<p>シビックプライドの醸成による街づくりについて。</p> <p>市民が都市に対して持つ自負と愛着を醸成させることが必要。市民が誇り高く、喜びを持って生活し、自らの個性を育めるような街づくり。作るのはモノではなく、人の輪（コミュニティ）。楽しいことをベースに、人のつながり、関係性を作る。いろんな事例の寄せ集めではない、芯の通った街づくり、思想に裏付けされたまちづくりが必要。</p> <p>人が集まる市民プラザの建設と市民やNPOなどによる運営と市民に対してのまちづくりのメッセージ発信。</p> <p>笑顔が溢れる生き生きとした街づくり、人と自然が調和した街づくり、市民が自分ごととして関わってくれるような展開方策を進めたい。→街づくりを継続的に進めていくプロジェクトチームの結成が必要→まちづくりをコーディネートする専門家の指導を受けて進める。→トライアンドエラーの繰り返し、段階的にステップアップさせていく。</p>	<p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町、海に面したまちであることなど本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりを進め市民が誇れるまちにしていきたいと考えています。</p> <p>本構想では、まちづくりのコンセプトとして「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」を掲げ、住む人、働く人、遊びに来る人、起業する人など、子どもから高齢者まで様々な方が関わり、お気に入りの空間や体験を見つけることができるにぎわいやときめきを生むまちを目指していきます。</p> <p>また、本構想の実現に向け、官民連携で地域・関係者の協力のもと継続的なまちづくり活動の実施や空間の運用、管理を行うエリアマネジメントを組織していくことを考えています。本構想の実現にあたっては、社会実験などを繰り返しながら、望ましい施設のあり方を検討していくとともに、まちの更新を進めるための機運を醸成していく必要があると考えています。</p>	ア 反映
13	<p>第3章 グランドデザイン</p> <p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>第5章 通り・エリアの将来イメージ</p> <p>その他（無電柱化）</p>	<p>素案は総花的で、残念ながら平塚の強みが理解できておらず、平凡です。</p> <p>平塚市中心部の道路インフラは非常に優れており、他の都市にない優位性を持っています。一方で、その優位性を活かしてきれていない現状があります。それは、街の印象を決定づける美観、特に田舎町の象徴である、おびただしい数の電柱と電線です。パールロードや国道、県道など地中化が一部実現している場所もありますが、駅周辺地区の醜い電柱のない整然とした景観を、線ではなく市道を含めた面で作ります。湘南の都市イメ</p>	<p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町など本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりを道路空間の活用も含めて検討していきます。</p> <p>平塚駅周辺地区において歩いて巡りたくなるウォークアブルネットワークを形成するためには、市役所や平塚市総合公園などの隣接する施設などへのつな</p>	ア 反映

		<p>ージにぴったりの、開放的な広い道路と青空を、まちづくりのコンセプトの最優先としてPRすれば、差別化が図れるでしょう。</p> <p>具体的には、対象地域内のセンターラインのある道路(2車線以上の道路)の電柱をすべて地中化します。さらに人が回遊する駅周辺繁華街の道路と、平塚市の顔となるメインストリートである総合公園に向かう道路、駅から市役所・ららぽーとへの道路も地中化します。湘南ベルマーレの試合に来る全国のサポーターや他の都市から来る買い物客が平塚の街と空の美しさと開放感を実感し、宣伝してくれるでしょう。構想の他のコンセプトとの相乗効果も出てきます。</p> <p>もちろん、ホテルをはじめとする高層建築が密集する駅周辺の防災機能は向上するので、安全面でのアピールもできるでしょう。</p>	<p>がりを強化することも重要です。例えば、公園通りは平塚駅西口から平塚市総合公園までをつなぐ通りであるため、湘南ベルマーレの試合に来る方をおもてなしするような景観形成などを目指していきます。</p> <p>平塚駅周辺地区内の路線のうち駅前大通り線の一部、宝町5号線の一部、紅谷町1号線、平塚駅花水線の一部、南町通り線、東海道本通り線の一部、南町通東浅間線の一部は無電柱化が完了しています。また、現在東海道本通り線の市民プラザ前交差点からオーケストアまでは無電柱化を進めています。その他の路線について具体的な計画はありませんが、景観形成や防災の観点も踏まえ、本構想に基づくまちづくりの進捗と併せて無電柱化を検討していきたいと考えます。</p>	
14	<p>第3章 グランドデザイン</p> <p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>第5章 通り・エリアの将来イメージ</p> <p>その他(無電柱化)</p>	<p>開発範囲の拡大(平塚市役所、平塚八幡宮まで広げる)について。</p> <p>駅を降りるとなんとなくいい感じがする街だな、住んでみたいなど思ってもらえるような街づくりのデザイン処理が必要。※訪れた人に良い印象を与える。</p> <p>「青空がきれいだな」と思ったら、そうだ、「電柱や広告看板がないや」。</p> <p>近代的な建築群だけど、色調がシックでお洒落。→街づくりのビジョンが感じられる。→怪しげな店舗が見当たらない。※駅前のリニューアルは最大の課題。バス停は地下にして、地上部を広場にし、人と人、人と自然が交流する場、若い人が集まる店舗展開などを図る。もしくは地下街のリニューアル。定期的なイベントの開催等、賑わいを演出する。</p> <p>駅周辺ビルのリニューアルも必須。寂れた街の匂いを発信していると思います。</p>	<p>平塚駅周辺地区では、景観形成や防災の観点も踏まえ、本構想に基づくまちづくりの進捗と併せて無電柱化を検討していきます。</p> <p>平塚駅北口駅前広場では、店舗と一体的に活用できる滞留・交流空間などを創出し、イベントなどを行うことなどで本市の魅力が感じられ、魅力の発信につながるような空間としていきたいと考えています。地下道などの既存の施設についても駅前広場の整備と合わせてあり方を検討していきます。</p> <p>歩いて巡りたくなるウォークブルネットワークを形成するため、市役所や平塚市総合公園などの隣接する施設などへのつながりを強化することも重要です。例えば、フェスタロードでは、既存のホテルや事務所の集積を踏まえ、広い幅員を活かし本市の企業が活用することで魅力を発信できるような取組みを検討します。</p>	ア 反映

		<p>開発範囲は、駅周辺から平塚市役所、平塚八幡宮一帯に広げる。平塚市役所に向かう直線道路を人が歩きたくなるような道づくり。平塚市の市政のメッセージが伝わる道づくり、デザイン処理。</p> <p>市役所の周囲も環境視点のまちづくりを進めているなど体感できるようなメッセージの発信が必要。市役所本体から住みたくなるまちづくりのメッセージを発信させる。</p>		
15	<p>第3章 グランドデザイン</p> <p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>安全に歩いて楽しめる街、人と交流する間口が広い、敷居が低い街にしてほしい。</p> <p>そのために、災害に弱く、日陰やビル風の原因になり、人が疎遠になる高層ビルやタワーマンションは作らないよう、現行の高さ規制を維持してほしい。</p> <p>スターモールとパールロードのアーケードは雨の日も手を空けて歩け、買い物しやすく、日よけにもなる市中心部の大切なインフラなので、ずっと維持できるよう必要なら支援してほしい。きれいなベンチも必要。</p> <p>気候危機対策と景観の観点から、高木の街路樹が多数あることが望ましい。市全体としても樹冠被覆率の目標を導入し、強剪定は避けてほしい。</p> <p>路面に間口の開いた個人商店が平塚の街の温かさと魅力を支えている。それが維持できるように、店舗や土地が空いたら新規出店しやすいように、特に若い人の挑戦を応援してほしい。まちの活気と新陳代謝につながる。</p> <p>ひらしん文化芸術ホールの勉強スペースはいつも若い人で埋まっており、フリーWi-Fi、電源、冷暖房、きれいなトイレ完備された無料で使える公共の場所のニーズが高い。子どもや若者の居場所、外遊びできる公園と自由に過ごせる建物ともに必要。駅ビルや駅周辺のビルに図書館分館など市の施設を入れて、</p>	<p>平塚駅周辺地区では、市街地における良好な居住環境や都市景観の形成を図るため、都市計画法に基づき建物の高さの最高限度を規制していますが、敷地面積の最低限度や前面道路の幅員等の基準に適合し、市街地環境の整備改善に資する場合は、制限を緩和できます。引き続き、市街地への影響を踏まえながら適切な高さ制限の運用に努めます。</p> <p>本構想では、平塚駅周辺地区が居心地良く歩いて巡りたくなるまちになることが必要と考えており、雨の日でも快適に買い物などができる環境の創出を目指していきます。アーケードについては、今後市街地の更新を進める中であり方を検討していきます。また、街路樹や民地の植栽などのみどりを活用した快適性、防災性の向上に努めていきます。</p> <p>賑わいのあるまちにするためには、平塚駅周辺地区を居心地が良く歩いて巡りたくなるまちになることが必要と考えており、地区の主要なエリアに交流や賑わいを生むような施設を誘導することや道路に滞留できる空間を創出していきます。</p> <p>本構想と同時に実現に向けた支援策や規制緩和などを取りまとめた「平塚駅周辺地区アクションプラン」を作成しており、市街地再開発事業などの建物を更新する事業の補助の要件としてまちに開かれた店舗やオープンスペースなど</p>	ア 反映

		<p>公共の場所を確保してほしい。今後中央公民館、中央図書館、南図書館など市の施設が立て続けに休館してしまう。残されたわずかな公共施設の取り合いが起きる。特に資力や行動範囲が限られる子ども、そして若者の居場所を行政が確保する必要がある。</p>	<p>の多様な活動、交流が展開されるような機能を誘導していくことを検討しています。また、現在平塚商工会議所が運用している空きテナントに対する補助金制度についても連携し、見直しを検討しています。</p>	
16	<p>第3章 グランドデザイン</p> <p>第5章 通り・エリアの将来イメージ</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>商店街の空き店舗のリノベーションについて。</p> <p>賑わいのある街づくりには商店街の活性化が必要であるが、大型店舗の出店やネットショップの発展で商売繁盛は簡単ではない。</p> <p>先ずは人を集める工夫が必要。江戸見附のある街づくりとして、古民家の移築等、暖かい人の香りがする街づくり、駅周辺を観光名所にしたい。</p> <p>加えて、若き実業家が出店したくなるような、低家賃の設定等、経済的サポートが必要、量販店、ネットショップにはない魅力ある店舗の出店。事例として単なる物売りではない、安心、安全、暮らしの質を高めるメッセージ発信できる店舗、ライフスタイル提案型ビジネス。 ※辻堂の蔦屋は若者で溢れている。</p>	<p>賑わいのあるまちにするためには、平塚駅周辺地区が「居心地が良く歩いて巡りたくなるまち」になることが必要と考えており、地区の主要なエリアに交流や賑わいを生むような施設を誘導することや道路に滞留できる空間を創出していきます。</p> <p>本構想と同時に実現に向けた支援策や規制緩和などを取りまとめた「平塚駅周辺地区アクションプラン」を作成しており、市街地再開発事業などの建物を更新する事業の補助の要件として店舗やオープンスペースなどの多様な活動、交流が展開されるような機能を誘導していくことを検討しています。また、本市が運用している空きテナントに対する補助金制度についても見直しを検討しています。</p> <p>見附台周辺は、「江戸見附のある東海道を感じるエリア」を将来像として店舗や道路空間などを一体的に活用したまちづくりを進めます。</p>	ア 反映
17	<p>第3章 グランドデザイン</p> <p>第6章 実現に向けて</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>平塚駅前に必須なのは安価な市営駐車場と考えます。現在の市営駐車場は収容台数が少ない上に老朽化が進んでいます。もう少し駅に近いポイントに収容台数の多い市営駐車場新設をご検討下さいませ。その際は、100円でも買い物をする最低1時間は無料になる設定が良いと思います。駅から少し離れたところに大型商業施設が複数あるので駅前への市民の足は遠のくばかりです。</p>	<p>本構想では、紅谷町駐車場周辺の整備を周辺の市街地の更新や通りの空間形成などに波及させていくための種となる重要なプロジェクトとして位置づけており、積極的に進めていきたいと考えています。このような事業の進捗による市街地の更新を踏まえ、駐車場については、市だけではなく民間と連携しながら適切な量の確保や配置を検討していきたいと考えています。</p>	ア 反映

		<p>(大型商業施設は平日無料の場合もあります)「ぷらっと行ってみようか」という気持ちにさせるのは駐車場がキーポイントです。是非、ご検討下さい。</p> <p>それと、銀座通り、パールロードはせっかくアーケードのある通りなのに今やシャッター街と化している事が残念でなりません。歩いているだけで楽しくなるような商業展開を希望します。鎌倉の小町通のようなユニークなお店の誘致は効果的だと思います。</p> <p>また、お年寄りやご年輩の方が利用できる衣料品店が昨今減っております。大型商業施設にもそのような方を対象にしたお店があまり見受けられません。老若男女、足を運べるような駅前活性化をぜひ実現してほしいと思います。若者もお年寄りも住みやすい街、平塚を！よろしく願い致します。</p>	<p>また、平塚駅周辺地区を居心地が良く歩いて巡りたくなるまちにするため、地区の主要なエリアに交流や賑わいを生むような施設の誘導や道路への滞留できる空間の創出を目指し、湘南スターモールや紅谷パールロードでは、建物低層部への店舗などの誘導や道路空間と店舗などを一体的に活用できる仕組みを検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、本構想と同時に実現に向けた支援策や規制緩和などを取りまとめた「平塚駅周辺地区アクションプラン」を作成しており、市街地再開発事業などの建物を更新する事業の補助の要件として店舗やオープンスペースなどの多様な活動、交流が展開されるような機能を誘導していくことを検討しています。また、現在平塚商工会議所が運用している空きテナントに対する補助金制度についても連携し、見直しを検討しています。</p>	
18	第4章 まちづくりの方針	<p>「移動しやすい環境づくり」ですが、ウォークアブルネットワークの形成には安心して利用できる歩行環境が必要と考えます。</p> <p>現在の歩道は、自転車の混在や自動車の駐停車等でそのような環境になっていない箇所も多いため、取り組みによる改善を期待しています。</p>	<p>平塚駅周辺地区は、バス、タクシー、自家用車、自転車などの交通の結節点となっており、それぞれの交通手段の錯綜や駐車・駐輪対策が課題となっています。これらの課題を解決し、安心して利用できる歩行環境をつくるとともに地区へのアクセス性を確保するため、各駅前広場の機能分担や官民が連携した駐車場・駐輪場の適切な量の確保と適正配置を進めていきたいと考えています。</p> <p>さらに、歩行環境を向上させるためには、滑りにくい舗装材の使用や段差の解消などのハードの取組みに加え、デジタルサイネージなどによる安全な歩行経路の情報提供などのソフトの取組みを検討していきます。</p>	ア 反映
19	第4章 まちづくりの方針	<p>バスの利便性の維持について、平塚市のバスは非常に便利なのでこれからも利便性の維持を行ってほしい。現状バス利用者として以下の懸念がある。</p>	<p>天候や催事を含めた様々な要因から起きる道路渋滞に起因するバスの定時性・速達性の低下については、課題であると認識しており、特に運行距離の長い</p>	ア 反映

		<ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭く、雨の日はダイヤが乱れがち ・七夕祭りなどが行われている際に紅谷町の混雑したルートを通る <p>特に２点目は出退勤に大きく影響が出たことがあるため、今後駅周辺で大きなイベントを催す際は混雑箇所を通らない臨時ダイヤを設計するなど、バス利用者のことを考えたまちづくりをしてほしい。</p>	<p>路線では影響が大きくなっています。バス優先レーン、バスベイの整備により渋滞の解消を図り定時制・速達性の向上に努めていきます。</p> <p>また、本構想では、駅前広場の機能分担を図っていくこととしており、各駅前広場の交通を分散させることにより通行の円滑化や各交通手段の錯綜を改善していきたいと考えています。併せて、交通機関の運行状況の発信などを行いハード・ソフト対策による公共交通の利便性の向上を進めていきます。</p>	
20	第４章 まちづくりの方針	<p>平塚駅周辺地区の商圈が狭くなった最大の原因は、大店法廃止後に日本各地で起きた駅前商店街の空洞化現象と傾向は同じで、郊外型大型店とそこに併設する無料大型駐車場へと買い物客が異動したことにあろう。平塚市民の最多交通手段は乗用車である（平塚市地域公共交通網形成計画（2019年）P29）ことから、起こるべくして起きた現象である。</p> <p>この流れに抗するためには、平塚駅周辺地区の魅力を商業から多機能化することも重要ではあるが、市内他地区から平塚駅周辺地区へのアクセス性を大幅に改善しなくしては、絵に描いた餅に終わりがねない。しかし本素案においては、本地区へのアクセス性向上策は、バス駐車場整備や周辺への（おそらく有料の）駐車場建設等に留まっており、郊外大型店と競合できる態勢にはほど遠いと言わざるを得ない。当地区内部の魅力アップ以上に、本地区へのアクセス性改善を検討し、これに投資してもらいたい（LRT等の新交通網建設を含めて）。</p>	<p>平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるうえで地区内の魅力の創出に加え地区へのアクセス性の確保も大切と考えています。</p> <p>実現に向け、地区へのアクセス性の向上を図ることを目的として、駅前広場の各交通の機能分担を図ることや、地区と市内各地を結ぶバス路線網の維持、乗り換え案内の充実による乗り換えの利便性向上などを検討していきます。</p>	ア 反映

21	第4章 まちづくりの方針	<p>134号線の海岸から北口南口駅前までの地下エリア活用構想を軸にして、海・川・山・農地と共存できる平塚ならではの街づくりについて。</p> <p>地方都市の駅前全国どこにいても、バス・タクシー・駅送迎車のスペースが優先された同じ景観になっています。駅前こそ、その街のシンボルを表現できる最高のスペースなので、平塚駅前を全国初の車社会の見えない駅前にする。そして、この駅前広場を起点とした「平塚駅周辺地区将来構想」をSNS発信すれば、誰から見ても一体感のある魅力的な街に仕上がると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口南口駅前のバス発着エリア・タクシー乗り場・駅送迎車のスペースを全て地下にし、地上の跡地を広場として使用する。 ①地上には人と犬しかいない、全国で初めてのバス・タクシー・乗用車がない車社会の見えない駅前の景観にする。 ②この駅前から車社会が消えた「湘南らしい平塚の街のうごめき」をSNSで常時発信する運用を取り入れる。 ③北口側広場は、パブリック・ビューイング施設を用意し、海・川・山・農地の情報をもとにイベントを企画する。 ④北口広場側は、ステージを用意し、野外コンサートやスケートボード競技やダンス競技を開催する。 ⑤南口側広場は、朝とれた新鮮な魚や野菜やそれらの料理の「平塚ならではの朝市」を常設し、ブランド化する。 ⑥七夕まつり・ベルマーレ・競輪・ビーチバレー・マラソンと駅周辺商店街と広場とSNSが一体となる企画を用意する。 ⑦花火大会は規模を小さくして南口側（海）と北口側（総合運動場）の両方で、広場企画と同期して開催日を増やす。 	<p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町、海に面したまちであることなど本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>また、平塚駅周辺地区は、バス、タクシー、自家用車、自転車などの交通の結節点となっており、それぞれの交通手段の錯綜や駐車・駐輪対策が課題となっています。これらの課題を解決し、安心して利用できる歩行環境をつくるとともに地区へのアクセス性を確保するため、各駅前広場の機能分担や官民が連携した駐車場・駐輪場の適切な量の確保と適正配置を進めていきたいと考えています。</p> <p>さらに、歩行環境を向上させるためには、滑りにくい舗装材の使用や段差の解消などのハードの取組みに加え、デジタルサイネージなどによる安全な歩行経路の情報提供などのソフトの取組みを検討していきます。</p> <p>平塚駅北口、南口の駅前広場では、店舗と一体的に活用できる滞留・交流空間などを創出し、イベントなどを行うことで本市の魅力が感じられ、魅力の発信につながるような空間としていきたいと考えています。</p>	ア 反映
----	--------------	---	---	---------

22	第4章 まちづくりの方針	<p>七夕まつりとリンクさせた街づくりについて。</p> <p>昔の七夕祭りは一般市民も参加し、竹飾りを民家で飾るなど、文化的要素があった。文化を基軸にした七夕まつりを再構築することで、賑わいに結びつけた。事例として開催時、駅を降りたら正面に竹飾りを簡単に飾れる場所を設置する。環境をテーマにしたデザイン処理や毎年のキャッチコピーを募集し、メッセージを発信させるなど。</p>	<p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町など本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりをハード、ソフト施策により、進めていきます。</p>	ア 反映
23	第4章 まちづくりの方針	<p>都市と農村の交流について。</p> <p>平塚市の財産は豊かな自然環境と広がる農地、海の産物である。周辺の都市には無い、最大の魅力である。海里、山郷をつなげる築地の場外市場のような「湘南里山マルシェ」などを開設する。ミニ築地のようなイメージ。農村文化などの提供も欠かせない。→農村環境で、体験農場などの都市住民受け入れ事業も並行に進める。</p>	<p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町など本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりをハード、ソフト施策により、進めていきます。</p>	ア 反映
24	<p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>第5章 通り・エリアの将来イメージ</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>唐突ですが私は、平塚市が大好きです。だからこそ、まちづくりにはきちんと関わりを持ちたいと思い、意見を出してみます。</p> <p>高校生から見た将来像についてですが、率直にとってもいい案だなと思いました。私が平塚に住んで、高校に通って1番嫌だなと感じたことは、平塚のいい所を他の市や県から来る子があまり知らなくて治安悪いだの、汚いだの、と言われることです。確かに、私が小さい頃は治安悪かったのかなと思うのですが、商店街の方が言っていた通りに、昔よりは全然良くなってきているのを身をもって感じる事が出来たので、それをもっともっと色んな方に知ってもらいたい。地元をもっと好きって思える人を増やしたいと感じ、このような清潔感のある外見にすること、再開発することは平塚にとってこれからの将来のために必要なのではないかと、思います。</p>	<p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町など本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりを進めていきたいと考え、まちづくりの方針を設定しました。</p> <p>「第5章 通り・エリアの将来イメージ」では、湘南スターモールで七夕まつりのメイン通りを感じられる景観づくりを行っていくことや公園通りで湘南ベルマーレと連携したイベントを行っていくことなどを示しています。</p> <p>また、本構想と同時に実現に向けた支援策や規制緩和などを取りまとめた「平塚駅周辺地区アクションプラン」を作成しています。市街地再開発事業などの建物を更新する事業の補助の要件として店舗やコワーキングスペースなどの多</p>	ア 反映

		<p>しかし、全てを変えると昔ながらの平塚の良さが失われてしまうので全てを変えるのではなく、昔のあるものを生かして変える。という方法が1番良いのではないのでしょうか！例えば、北口の商店街ならば、しんさんが言っていたように空きテナントを活用すること、それに加えて、若者がもっと商店街を楽しめるようなお店であったり、高齢の方が使えるような互いに刺激し合える、交流の場みたいなものを作るともっと良いのかなと、夜の街平塚じゃなくて、昼も夜もいいところだぜと見せつけられるような、そして何年経っても平塚市があな商店街で七夕祭りができるように、さらに力を入れられるように七夕をモチーフにしたカラーの商店街にするなど、もっと私は商店街に平塚市らしさが欲しいです！</p>	<p>様な活動、交流が展開されるような機能を誘導していくことを検討しています。</p>	
25	<p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>第6章 実現に向けて</p>	<p>夜間営業を主とする娯楽・飲食関連施設が増えることを制限する。夜も健全で安心なまちづくり。</p>	<p>本構想の検討の際に実施した市民アンケートでは、将来の平塚駅周辺地区に重視することとして「治安の良さ」が最も多く、夜間も含めて安心して過ごせるまちづくりを進めることが必要です。</p> <p>建物の用途は、まちのイメージをつくる要素のひとつであると捉えていますが、建物の用途の制限は、経済活動に与える影響もあるため慎重に検討すべきと考えます。</p> <p>本構想策定後に地域の方々とともに建物の用途の規制や防災、防犯活動について検討し安心して過ごせるまちづくりを進めていきます。</p>	ア 反映
26	<p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>第6章 実現に向けて</p>	<p>北口駅前広場について、</p> <p>①北口駅前の YouU 館が解体されるタイミングで、通勤者利用を前提とした託児所センターの設置(千葉県流山市のケースがモデル)</p> <p>②YouU 館解体時に中央図書館を移設</p> <p>③YouU 館の1Fを駅前ロータリーまで拡張し、託児所バスの送迎用一時停車スペースにする</p>	<p>本構想では、平塚駅北口駅前広場周辺の整備を周辺の市街地の更新や通りの空間形成などに波及させていくための種となる重要なプロジェクトとして位置づけています。</p> <p>平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるためには、建物の建替えや通りの空間形成などのハードの取組みと創出された空間の活用や店舗誘致などのまちの魅力づくりにつながるソフトの取組み</p>	ア 反映

		<p>①②共に駅前に人が集まるパブリックスペースが必要と考えます。商業施設はもう十分あると思います。</p>	<p>を一体的なエリアで進めることが必要と考えているため、平塚駅北口駅前広場周辺への子育て関連施設や文化・教育施設の誘導を含め、取組みを推進していきたいと考えています。</p>	
27	<p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>その他(無電柱化)</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>電線を地中化してほしい。地震の際に電柱の崩壊はとにかく危険。空が広く見える通りを希望。</p> <p>そして緑をもっと増やしてほしい。</p>	<p>平塚駅周辺地区内の路線のうち駅前大通り線の一部、宝町5号線の一部、紅谷町1号線、平塚駅花水線の一部、南町通り線、東海道本通り線の一部、南町通東浅間線の一部は無電柱化が完了しています。また、現在東海道本通り線の市民プラザ前交差点からオーケーストアまでは無電柱化を進めています。その他の路線について具体的な計画はありませんが、景観形成や防災の観点も踏まえ、本構想に基づくまちづくりの進捗と併せて無電柱化を検討していきたいと考えます。</p> <p>平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるにあたっては、みどりの活用による快適性や防災性の確保が必要であると考え、「第4章 まちづくりの方針」の「5. グリーンインフラの活用による快適性・防災性の確保」において官民が連携して緑化を進めることで居心地のよい空間を創出していくことや雨水の浸透機能を確保していくことを記載しています。その実現のため、「平塚駅周辺地区アクションプラン」では、市街地再開発事業などの建物を更新する事業の補助の要件として敷地の緑化などを盛り込むことを検討しています。</p>	ア 反映

28	<p>第4章 まちづくりの方針</p> <p>その他(道路の愛称)</p>	<p>現在までの歴史や経緯、ならびに平塚市以外の第三者の功績によって良いイメージが定着した「湘南」という呼称を安易に流用するよりも、平塚市民としては「平塚スターモール」や「ひらつかスターモール」の方が親しみやすく、またそこが、活気があり将来性のあるまち、ひいては「湘南」地域の中心になるとすれば、平塚市に暮らすことに、より一層誇りが持てます。</p> <p>一方で、「湘南スターモールでめざすまち」という文言からは、この機とばかりに、平塚市こそが湘南の中心、と主張されたい下心が露骨に窺えます。かつて平塚市の商業者を中心に提起された「湘南市」合併構想が、ほとんどの一般市民や周辺地域の住民の共感を得られず、かつ、平塚市長選挙の一争点となって選挙民にも否定され、その結果、頓挫したことは記憶に新しいところです。多くの一般市民が、平塚市が「湘南」を主張することを歓迎していない、それをありがたがっていない、ということです。</p> <p>「湘南」というこの地域の言わば共有財産を、平塚市が独占するのではなく、平塚市民が「平塚市」に誇りを持ち、加えて、将来の「平塚」や「ひらつか」が、現在の「湘南」に匹敵し、さらには凌駕するほどの良いイメージを抱かせるような「平塚駅周辺地区将来構想」となるよう、ご配慮、ご検討の上、策定して頂きたいと切に願います。</p> <p>なお、この意見は当然ながら、「湘南」地域全体と平塚市の連携を否定するものではありません。</p>	<p>「湘南スターモール」は、幹道29号東海道本通り線の一部の愛称です。この愛称は、昭和62年に行ったショッピングモール整備を契機に市民から公募して決定したもので、現在も市民に親しまれている愛称であると考えています。</p> <p>平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町、海に面したまちであることなど本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりを進め市民が誇れるまちにしていきたいと考えています。</p>	ア 反映
29	<p>第5章 通り・エリアの将来イメージ</p>	<p>「湘南ベルマーレ」のホームタウンは、現在9市11町からなります。については、36ページの現在の表記を次のように修正するよう提案します。</p> <p>現在の表記：湘南ベルマーレのホームタウンを示す</p>	<p>いただいた御意見のとおり、平塚市が湘南ベルマーレのホームタウンのひとつであるため、「第5章 通り・エリアの将来イメージ」の「コラム」を修正しました。</p>	ア 反映

		<p>修正後の表記：平塚市が湘南ベルマーレのホームタウンの一つであることを示す</p> <p>現在の表記では、Jリーグ事情をご存じでない多くの方（個人的な印象では、残念ながら、Jリーグや湘南ベルマーレにさほどの興味を持たない平塚市民が大半です）が、あたかも平塚市だけが唯一のホームタウンであるとの誤解を招く恐れがあると思います。</p> <p>平塚駅西口からホームスタジアムである平塚競技場（レモンガススタジアム平塚）への徒歩経路入口に位置することを主張されたいのだと思いますが、湘南ベルマーレのホームスタジアムが、現在のホームタウン9市11町のうち、平塚市以外のどの市町にあっても、どの市町に移転しても、成立し存続し得ることは申し上げるまでもありません。</p>		
30	第5章 通り・エリアの将来イメージ	<p>今般の「将来構想」では「湘南ベルマーレとコラボしたまちづくり」に言及しない。</p> <p>「Jリーグ百年構想」の下で、「湘南ベルマーレ」がホームタウンである9市11町とともに、末永く将来に渡ってより一層高め合い、より一層発展することを願えば、例えば、平塚市よりも交通の便が良く集客を見込みやすい、JR・小田急線・江ノ電・相鉄・ブルーラインが乗り入れる藤沢市、あるいはJR（在来線・新幹線）・小田急線・大雄山線が乗り入れる小田原市などが、施設に課題があるとされる現在のホームスタジアムの移転先候補としてより有望であることは、周知の事実だと思えます。</p> <p>今般の「将来構想」においては、「湘南ベルマーレ」のホームスタジアムが、平塚市外へ移転する可能性を想定すべきです。共有財産である「湘南」を独占しないことと同様に、仮に「湘南ベルマーレ」による便益がホームタウンの各自治</p>	<p>本市ではサッカーのほかにも野球やバスケットボールなどのプロスポーツの試合が行われており、湘南ベルマーレのホームタウンのひとつであることは、あくまでも本市の魅力のひとつであると考えています。</p> <p>これらを捉え、地域の特色を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	ア 反映

		<p>体にあるとすれば、ホームタウン9市11町が等しく享受し、また、何らかの責務があるとすれば、等しく負担すべきと考えるのが自然です（当然ながら、各自治体の税収やその比率などは勘案するとして）。</p> <p>また、現在のホームタウン9市11町が、何らかの事情によって、将来増減する可能性があることも、申し上げるまでもありません。</p>		
31	<p>第5章 通り・エリアの将来イメージ</p>	<p>公園通りのグリーンネットワークの創出ですが、街路樹の統一は効果が乏しそうに感じます。</p> <p>エリアマネジメントが実現するのであれば、季節の花が並ぶのが効果的と考えました。</p>	<p>本構想の「第5章 通り・エリアの将来イメージ」では、平塚駅周辺地区の主要な通りやエリアのイメージを描いていますが、一例であり実現にあたっては、関わる主体が協議を重ね具体化していく必要があると考えています。</p> <p>公園通りは、平塚駅西口を出て平塚市総合公園に向かう通りであるため、スポーツ観戦に訪れた方などをおもてなしするため、街路樹のみでなくエリアマネジメントやアダプト制度を活用した植栽の創出や管理などを検討していきます。</p>	ア 反映
32	<p>第5章 通り・エリアの将来イメージ</p> <p>第6章 実現に向けて</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>南口の駅前にも、地域住民や海に遊びに来た観光客などが集まれる飲食店が増えるといいなと思います。そもそも南口→北口の行き来がしづらく、南側の住民にとっては北口に行きづらいほか、辻堂や茅ヶ崎と比べると南口で楽しめる要素が少なく、観光においても敢えて平塚が選ばれない印象もあります。せめて全国チェーンの居酒屋やファミレスが1～2店舗でも入るといいなと願っております。</p>	<p>駅前広場は、本市の魅力が感じられ、魅力の発信につながるような空間としていきたいと考えており、特に平塚駅南口駅前広場は、「海を感じる交流拠点」を実現するため、沿道店舗と公共空間の一体的な活用や海を感じられるイベントの実施を進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、本構想と同時に実現に向けた支援策や規制緩和などを取りまとめた「平塚駅周辺地区アクションプラン」において、駅前広場の魅力の創出につながるよう、市街地再開発事業などの建物を更新する事業の補助の要件として低層階への店舗やオープンスペースの創出を盛り込むことを検討しています。</p>	ア 反映

			平塚駅北口と南口の連続性については、本構想の策定以降に具体的な検討を進めます。	
33	第6章 実現に向けて	紅谷町駐車場周辺のプロジェクトですが、現在は十分に活用できているとは言い難い紅谷町まちかど広場や紅谷町公園も含めて検討いただくことを期待します。	本構想では、紅谷町駐車場周辺の整備を周辺の市街地の更新や通りの空間形成などに波及させていくための種となる重要なプロジェクトとして位置づけています。 平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるためには、建物の建替えや通りの空間形成などのハードの取組みと創出された空間の活用や店舗誘致などのまちの魅力づくりにつながるソフトの取組みを一体的なエリアで進めることが必要と考えているため、紅谷町まちかど広場なども含め、取組みを推進していきたいと考えています。	ア 反映
34	第6章 実現に向けて	北口と南口を平面で繋ぎ、自動車を現在の東側にある半地下歩行者通路の上に設置する、南北の自由通行を確保する。沼津駅方式がモデルです。 ① 駅ホームを2階化 ② 東海道線、貨物線も同時に2階化 ③ 湘南大橋から花水側橋の区間を立体化する これにより平塚駅の南北分断化がなくなり、広大なパブリックスペースが生まれる。	平塚駅北口と南口の連続性や地下通路などの活用については、本構想の策定以降に具体的な検討を進めます。	イ 参考
35	第6章 実現に向けて その他(施設の適正利用)	平塚駅北口では深夜と早朝にベンチにホームレスがよく集まっている。夜は歌声が大きい。そのような現状を踏まえた上で再開発に臨んでほしい。	本市では、ホームレス及びホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある方に対して、福祉部局、道路管理者をはじめとする施設管理者、支援団体、関係機関等が連携し、巡回相談等により御本人の生活状況等を把握するとともに、迷惑となるような荷物の撤去のお願いや、お一人お一人の状況や意思を踏まえた自立支援を行っています。引き続き、庁内関係部署及び関係機関が連携	イ 参考

			<p>し、施設の適正利用の確保と人権を配慮した支援に努めていきます。</p> <p>また、本構想策定後に地域の方々とともに防災、防犯活動についても検討し、安心して過ごせるまちづくりを進めていきます。</p>	
36	その他(市民や事業者の参加方法)	<p>対象エリアに店舗がある事業者向けに説明会など開催していただきたいです。</p>	<p>平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるためには、本構想の策定段階から市民や事業者など実現に関わる人と「想い」を共有することが大切と考え、ワークショップやオープンハウスなど対面による意見交換を多く行ってきました。また、令和5年度には、建替えを考える方などを対象としてアドバイザーを派遣できる制度を創設し、説明会などを行いました。</p> <p>本構想の策定後も関係する主体や団体、市民と目的や進捗を継続的に共有し、情報交換できる機会や活用できる支援制度を周知する機会をつくっていきたいと考えています。</p>	ア 反映
37	その他(市民や事業者の参加方法)	<p>私は中学校からまちづくりに興味を持っていて、この間もタウンミーティングというものや、七夕学生委員会として活動し、その延長線として仲間と平塚市を中心に学生団体 en まちというもので活動しています。まちづくりには環境が必要で環境にはまちづくりが必要という関係でどちらかがなくなったら成り立たないじゃないかなと思うほど大切な存在だと思います。インスタグラムもあるのでぜひ知っていただけたら嬉しいなど、思います。</p> <p>今回の構想は、20年後の将来像と書いてあって、その20年後に社会の中心なのは私たち若者なのではと思いました。確かに、今は私たちでは無いかもしれないし、大人の方が一生懸命に未来に向かってるのは感じているのですが、私はもっともっと若者としてこの地元を盛り上げたいという思いがあります。きっ</p>	<p>平塚駅周辺地区のまちづくりを進めるためには、本構想の策定段階から市民や事業者など実現に関わる人と「想い」を共有することが大切と考え、ワークショップやオープンハウスなど対面による意見交換を多く行ってきました。</p> <p>本構想の策定後も関係する主体や団体、市民と目的や進捗を継続的に共有し、情報交換できる機会をつくっていきたいと考えています。</p>	ア 反映

		<p>とこういう中、高校生はたくさんいます。学校の授業でやっているところもあると聞きました。だから、私もこのまちづくりに携わりたいです。市役所の方から決められることがあるかもしれませんが、それに私たちが参加することでより良いアイデア、そして何よりも大人と子どもの交流にもなります。お仕事の大切大変さも学ぶことができます。平塚を盛り上げることもできます。今よりも新しい平塚によりあったかひらつかにしたいです。もし、まちづくりに携われるならやりたい、挑戦したいです。お知らせを待ってます!!!!</p>		
38	その他(市民や事業者の参加方法)	<p>今般のパブリックコメントの公平性は、厳に担保されるのでしょうか。</p>	<p>パブリックコメント手続を実施していることを市民の皆さまが知らなければ、意見を提出することができないため、パブリックコメント手続の実施にあたっては、それを予告し、広く周知する運用としています。「広報ひらつか」や市のホームページに加え、SNSの発信等により皆さまに知っていただく機会の確保に努めました。</p> <p>また、提出いただいた御意見は整理した上で公表する運用としていますが、御意見を一つ一つ考慮して対応を検討しています。</p>	ウ その他
39	その他(市民や事業者の参加方法)	<p>少数意見を、この「平塚駅周辺地区将来構想」に、実際に取り入れるお考えはお持ちでしょうか。</p> <p>一般市民が、平塚市におけるパブリックコメントの実施を知るには、定期的に平塚市のウェブサイトをチェックするなど、常日頃から心掛けておく必要があります。</p> <p>一方、「平塚駅周辺地区将来構想(素案)」に記載がある「商店会」、およびその関係者には、ウェブサイトなどでの広報に加えて、平塚市の関係職員などからこのパブリックコメントの実施に関する</p>	<p>本構想を実現するためには、従来の市主導のまちづくりだけでなく、市と市民や商業者、事業者、関係団体などが連携し、それぞれの方が自分ごととしてまちづくりに取り組む必要があると考えており、本構想がまちづくりに関わる方々へ方向性を示し、想いを共有するツールとして活用されることを期待しています。</p> <p>そのため、本構想では、関わる市民の方や事業者の方など多くの方の声を聴く機会を今まで以上に大切に考え、またその過程自体が実現に向けた取組みにつながるよう、たたき台や素案を作成す</p>	ウ その他

		<p>る情報を得る機会があったであろうことは、想像に難くありません。</p> <p>すなわち、その結果、公平性が担保されず、また一般市民からの少数意見や反対意見が数の力で黙殺され、恣意的な結果に導かれることが懸念されます。</p>	<p>る各段階で、市内の商業施設等に職員が出向いて市民の方へ意見をいただく取り組みや、ワークショップ、説明会などを実施してきました。</p>	
40	その他（市民や事業者の参加方法）	<p>貴庁が、今般のパブリックコメントに対して取り組まれる姿勢は、次の①から③のうち、どの項目が近いでしょうか。なお、これらの各項目はあくまでも選択肢として例示したもので、他意はございません。</p> <p>①市民や在勤・在学者から多くの意見を幅広く募り、少数の否定的な意見を含めて、今般の将来構想に積極的に取り入れたい。</p> <p>②「パブリックコメント手続制度」のウェブサイトへのリンクやバナーを、平塚市のトップページに配置せず、深い階層に置くことに象徴されるように、あまり多くの意見、特に、否定的な意見が寄せられないことを願っており、既定路線の素案のまま進められず、処理が面倒になることは避けたい。</p> <p>③その他、上記のどちらにも該当しないのであれば、ぜひご見解をお聞かせください。</p>	<p>例示いただいた選択肢の中では、①の考えです。</p> <p>先述のとおり、本構想の作成にあたっては、多くの方の声を聴く機会を今まで以上に大切に考えているため、パブリックコメント手続のみではなく、商業施設やイベント会場等に職員が出向いて市民の方へ意見をいただく機会をつくるなど、他の意見聴取の機会も設けてきました。</p>	ウ その他
41	その他（喫煙所）	<p>「子育て」や「健康づくり」を標榜されるのであれば、平塚駅北口と西口の喫煙スペースについて、以下のいずれかの対策を直ちに取って頂きますようお願い申し上げます。</p> <p>①喫煙スペースを撤去し、平塚駅周辺地区での路上禁煙を徹底する。</p> <p>②喫煙者から徴収する料金を原資として、空気清浄装置付き屋内型喫煙所にする。</p> <p>習慣的に喫煙される方はお気付きでないかもしれませんが、「電車やバスで平塚駅に降り立つと臭い」という現状と、それに類する喫煙所への否定的な意</p>	<p>平塚駅周辺地区内に指定喫煙場所が3か所あり、市民の方々から煙や臭いなどについて御指摘を受けております。</p> <p>平塚駅北口喫煙場所は、たばこ事業者と調整し、煙や臭い、受動喫煙を抑制するための改修を行いました。</p> <p>西口及び紅谷町まちかど広場の指定喫煙場所についても引き続き対応を検討していきます。</p>	イ 参考

		見は、しばしば耳目に触れるところです。受動喫煙による子どもや高齢者への悪影響も、もちろん心配です。この現状は、今般の「平塚駅周辺地区将来構想」ならびに「まちづくりの方針」に全くふさわしくありません。この対策に直ちに着手すべきだと思いますが、いかがでしょうか。		
42	その他(道路補修)	平塚市議会議員選挙で何人かの方が公約に掲げていた道路網の整備、特に「道路の白線の補修」を盛り込んでほしい。自動車の運転者として平塚は非常に運転しづらいまちであり、理由のひとつが「白線が視認しづらい」ことにある。平塚駅周辺が率先して白線の補修に取り組むことで、そのさらに周辺も補修が進むことを期待したい。道路網の整備を選挙の公約に盛り込んでいるほど現状が酷いという認識を改めて持ってほしい。	道路の白線については、職員が現地確認を行い、補修が必要な箇所から順次塗り直してまいります。	ウ その他
43	その他(道路の愛称)	「湘南スターモール」よりも、私が提案する以下の呼称の方が、「平塚駅周辺地区」を代表する「通り・エリアの将来イメージ」にふさわしいと思いますが、いかがでしょうか。 「湘南スターモール」に代えて提案する新たな呼称「平塚スターモール」または「ひらつかスターモール」。 今般の「将来構想」ならびにそれに関する事項について、「湘南」という言葉を、原則として湘南地域の他の自治体等との連携などに関する以外には使わないということです。 また、「湘南スターモール」という呼称は、残念ながら平塚市民や周辺住民のほとんどに定着しておらず、実際、平塚市内に数十年来在住している私も、どこの何を指すか正確な認識がありません。さらには、「湘南スターモール」が平塚市内にあることに違和感を覚える人も多いのではないのでしょうか。加えて、様々	「湘南スターモール」は、幹道29号東海道本通り線の一部の愛称です。この愛称は、昭和62年に行ったショッピングモール整備を契機に市民から公募して決定したもので、現在も市民に親しまれている愛称であると考えています。	ウ その他

		<p>な「湘南」地域の定義でもわかるように、平塚市が湘南の中心であるという認識も共有されておらず、また、市内外の地域住民の間でもそのような合意形成はありません。</p> <p>ついては、「平塚駅周辺地区」に関する「通り・エリア」であることが明確にわかるように、どこにあるのかあいまいな「湘南スターモール」を、平塚駅周辺地区将来構想を策定する絶好のこの機会に、「平塚スターモール」または「ひらつかスターモール」に改称することを提案します。</p>		
44	その他（道路の愛称）	<p>「湘南スターモールでめざすまち」は、平塚市こそが湘南の中心であると主張することが目的ですか。</p> <p>「湘南スターモール」は、「湘南国際村」と同様に、その所在自治体が全国区では知られていないと思います。また、広大な湘南地域のどこにでも存在できる名称であるため、地域識別性に著しく劣ります。</p>	<p>「湘南スターモール」は、幹道29号東海道本通り線の一部の愛称です。この愛称は、昭和62年に行ったショッピングモール整備を契機に市民から公募して決定したもので、現在も市民に親しまれている愛称であると考えています。</p>	ウ その他
45	その他（道路の愛称）	<p>「湘南スターモール」の定着度について、平塚市民や周辺住民に対するアンケートを実施する計画はありますか。</p> <p>その計画があるのでしたら、恣意的なアンケート、例えば、商店会などの今後の将来構想の受益者を中心にアンケートを取るなどの手法は取らないようお願い致します。「湘南スターモール」は、多くの平塚市民の間で定着していないと思います。今こそ、「平塚スターモール」もしくは「ひらつかスターモール」に改称するチャンスです。</p>	<p>現在、「湘南スターモール」の愛称について定着度のアンケートを取る予定はありません。</p>	ウ その他

46	その他(道路の愛称)	現在の呼称が「湘南スターモール」で、「平塚スターモール」もしくは「ひらつかスターモール」でないのは、「平塚」の市名の由来が、一説に「塚」、すなわち「墓」に由来するもので、縁起が悪いという声があるからですか。申し上げるまでもなく、日本全国の歴史ある地名は各地の財産で、後世に長く継承すべきものと考えます。	湘南スターモールの愛称の由来について、市名の由来との関係性はありませぬ。	ウ その他
47	その他(道路の愛称)	平塚市や商店会の皆様が、すでに良いイメージが確立した「湘南」に、拘泥、固執されるのは、受益者の高齢化なども一因として、短期的に結果を得たいからですか。 目先の利益よりも、中長期的に、「平塚」「ひらつか」のイメージを向上させることが重要だと思います。	本市唯一の鉄道駅である平塚駅の周辺のまちづくりを進めることで本市のイメージ向上につなげたいと考えていますが、本構想において「湘南」を活用することで本市のイメージの向上につなげることは考えていません。	ウ その他
48	その他(道路の愛称)	平塚市や商店会の皆様が、すでに良いイメージが確立した「湘南」に、拘泥、固執されるのは、受益者の高齢化なども一因として、短期的に結果を得たいからであれば、平塚駅周辺地区の未来を託す子どもたちに誇れる「将来構想」だと言えますか。 現在の「湘南スターモール」のままでは、「平塚」「ひらつか」のイメージ向上に努めるのではなく、このあたり一帯の共有財産である「湘南」を、関連する地域住民の合意を得ず、平塚市が勝手に独占した、ということになってしまいます。	平塚駅周辺地区には、湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、平塚八幡宮や東海道の宿場町、海に面したまちであることなど本市の顔となる多様な地域資源があります。さらに、多くの商店街が形成されており、通りごとに様々な活動や特色があることから、これらの地域資源や個性を活用したまちづくりを進め市民が誇れるまちにしていきたいと考えています。 「湘南スターモール」は、幹道29号東海道本通り線の一部の愛称です。この愛称は、昭和62年に行ったショッピングモール整備を契機に市民から公募して決定したもので、現在も市民に親しまれている愛称であると考えています。	ウ その他

49	<p>その他(災害対策)</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>20年後の将来像ということであれば「平塚ならでは」が弱いように思います。策定の背景と目的に「概ね20年後の将来像(将来のあるべき姿)を示し、市と市民や事業者が共有し持続可能なまちづくりを実現するために策定」とあるが、20年後までには南海トラフの地震で津波に襲われる可能性があるわけで、そのことに触れない街づくりでは、常に不安にさらされて居心地の良い街とは言えず、とても「持続可能なまちづくりの実現」は難しいと思われます。</p>	<p>最大クラスの津波に対しては、住民等の生命を守ることを最優先として、住民等の避難を軸に住民の防災意識の向上、的確な避難情報の発令や避難誘導、津波避難計画等のソフト対策を推進するとともに、数十年から百数十年に一度程度発生する津波に対しては、相模灘沿岸海岸保全基本計画を踏まえ、護岸整備等のハード対策を実施しています。ライフラインについては、被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させるために関係機関と連携を図っています。</p>	イ 参考
50	<p>その他(災害対策)</p> <p>その他(平塚駅周辺地区アクションプラン)</p>	<p>134号線の海岸から北口南口駅前までの地下エリア活用構想を軸にして、海・川・山・農地と共存できる平塚ならではの街づくりについて。</p> <p>134号線の地下に「地下誘導型防潮堤」を施設し、134号線領域の地下駐車場と駅前広場のシャトルバスを用意する。</p> <p>①どこも対策できていない南海トラフの脅威に対して、全国で初めて地下誘導型防潮堤を採用したモデル都市になる。</p> <p>②南海トラフの津波やゲリラ豪雨を吸収するだけでなく、電気・ガス・水道等のライフラインを災害に強くする。</p> <p>③平時は、バス・タクシーの乗降エリアおよび平塚駅周辺地区来訪者の無料駐車場としてシャトルバスでつなぐ。</p> <p>④地下エリアに、飲料水・トイレ・シャワーを整備し、Jアラートが発信された場合の、シェルターとして使用する。</p>	<p>平塚駅周辺地区の取組みとしては、本構想の実現のために検討している「平塚駅周辺地区アクションプラン」において、市街地再開発事業などの建物を更新する事業の補助の要件として帰宅困難者用の一時滞在施設の整備を盛り込むことを検討しています。</p> <p>引き続き安心・安全なまちづくりについて研究していきます。</p>	イ 参考

<お問い合わせ先>

平塚市都市整備部都市整備課

電話：0463-21-8783

電子メール：machi-j@city.hiratsuka.kanagawa.jp